

よくある質問

2023.11

りつのクリニック

ホームページに記載されている「よくある質問」です。

目次をクリックすると該当ページに移動します。

目次

アトピー性皮膚炎の治療.....	3
アトピー性皮膚炎はどんな病気ですか？.....	3
子供の将来にどのような影響がありますか？.....	4
内服薬はどのようなお薬ですか？.....	5
塗り薬はどういうお薬ですか？.....	6
塗り薬はどのように塗りますか？.....	7
なぜ当日窓口での依頼では、1ヶ月分の薬を処方できないのですか？.....	8
小児アトピーの子供は、ぜん息になり易くなりますか？.....	9
ぜん息とは何ですか？.....	12
日常生活への質問.....	13
スキンケアはどのようにしたらいいのでしょうか？.....	13
どうして石鹸を使わないのですか？.....	14

石鹼を使う場合.....	15
消毒液は禁止.....	16
入浴剤も禁止.....	16
普段から気をつけたい生活ポイントとは？.....	17
夏のスキンケアで気をつけることは？.....	19
室内での小児アトピー対策はありますか？.....	21
ログイン・予約の方法.....	23
ログインの方法を教えてください.....	23
パスワードを忘れました。再設定？.....	23
家族で受診する場合について教えてください？.....	23

アトピー性皮膚炎の治療

アトピー性皮膚炎はどんな病気ですか？

かゆみの伴う湿疹が、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら慢性的に経過するアレルギー疾患のひとつです。

乳児が手で特定の部位をかくことが頻繁にあればアトピー性皮膚炎を疑ってください。かゆみによる睡眠障害により生活に支障をきたすこともあります。

思春期では背中などに難治性の痒みが数カ所できるときもあります。

小児期に発症することが多く、遺伝的素因が強いことで知られています。

- ・ 皮膚が赤くかゆみを伴う
- ・ ひざ裏、ひじ裏が赤くなっている
- ・ 皮膚がざらざらしている
- ・ 引っ掻いた傷の治りが悪く、痒みが強くなる
- ・ 皮膚がひび割れている
- ・ 湿疹が左右対照に見られる

などが見られたらアトピー性皮膚炎を疑ってください。

皮膚のバリア機能が低下しており、炎症を繰り返し起こすことによって感染症にかかりやすく、また治療が遅れると重症化することもあります。

皮膚の感染症を伴う場合は感染が治っても、アトピーを治療しなければまた再発します。

慢性の経過をとるのも特徴ですが、慢性とは1歳未満で2ヶ月以上、1歳以上の6ヶ月以上継続している状態のことです。体質からしっかり治さないでいると、一旦良くなったようでも、また湿疹が出てきます。

この状態を繰り返すと慢性化の一途をたどります。

範囲が少なく、少しの赤みと痒みだけの状態に早期に治療すること、年齢が小さいときに治療を開始することが、アトピー性皮膚炎の悪化や慢性化を防ぐコツです。

子供の将来にどういう影響がありますか？

小児アトピーの子供は、アレルギーマーチという状態を引き起こし、ぜん息や花粉症になり易いと言われていています。

また皮膚のバリア機能が低下しているために感染を起こしやすくその他の刺激にも敏感になっています。

しつこい痒みや肌の外見を気にしてしまうなどで、精神的に注意力散漫等の状態になり、ものごとに集中できないといった日常生活に影響が出ることもあります。

顔の目の周りにアトピー性皮膚炎がある場合には、放っておくと将来、白内障や網膜剥離を併発することがあります。

食欲も低下して、成長障害を起こしたり、かゆみがひどいと睡眠障害になり、質の良い睡眠が得られない為、日中に眠たくなりパフォーマンスが下がります。年齢別に症状の現れやすい場所があります。

乳児：頭、顔、首

幼児：首のまわり、尻、肘の関節の内側、膝の関節の内側

思春期：上半身、顔、首、胸、背中

アトピーかな？と思ったら、早めの受診と治療をお勧めします。

内服薬はどのようなお薬ですか？

内服薬は厚生省認定の小児薬を組み合わせ、30年以上の研究結果によって当院が開発しました。

特別な難治性の小児アトピーから始めた独自の体質改善による治療は内服薬を中心として、治療に必要とする最小限の塗り薬を組み合わせた小児アトピー治療の新しい治療方法として提供しています。

小児アトピーの内服薬を一日3回服用して頂きます。ブログ写真のように1ヶ月で効果がみられ、病状・重症度によって異なりますが、治療後はすべすべの状態に近いものとなります。

※内服薬にステロイドは一切含まれておりません。

大人への難治性のアレルギー性皮膚炎の治療にも対応していますが、小児と異なり、日数がかかります。あきらめなければ大半は良くなります。希望を捨てないでください。

塗り薬はどういうお薬ですか？

カビ、あるいは、とびひなど複雑な状況と診断した場合には、部位別に抗真菌薬・抗菌薬等の塗り薬の外用薬を処方します。

傷軟膏とカビ軟膏の2種類となります。
さらに軟膏は「顔」「手足」「体」を部位別に処方します。

炎症が強く、痒みを伴う場合はステロイドの軟膏も使用しますが、外用薬はあくまでも内服薬の補助として短期集中的に使用する、というのが当院の治療方法です。

身体の内側からの痒みを抑えることはもちろんですが、治療開始時は表面からもかゆみを低下させることによって皮膚のかきむしりを防ぎます。

内服薬と併用でかゆみは1週間ほどで収まります。
当院ではステロイドを含まない内服薬治療が中心です。

塗り薬はどのように塗りますか？

小児アトピー塗り薬は 24 時間、患部の皮膚に効能が保たれるように、一日に 4 回薄く必要な部分に集中して塗ります。厚く塗らないようにしてください。
※一日 3 回の塗布では治療の効果が低減します。

塗り薬は手の平サイズの面積にお米で一粒ほどの分量を使います。その面積には 10 ヶ所ほどに分けてから薄く膜を張るように塗ります。

カビや、とびひと診断された場合には、赤みと傷がなくなったら、傷の塗り薬を、カビの塗り薬に取替えます。

- ・入浴後・手洗い後は皮膚の水分を拭きとったらすぐに塗ります。
- ・湿疹でデコボコしている箇所には、出っ張った箇所にも薬が乗るようにドレッシングします。
- ・キズの部分は出来るだけ軟膏をつけた後にガーゼで保護して下さい。
- ・頭皮は地肌に到達するようにしっかり塗ります。

皮膚が徐々に改善しつつ、内服薬によるアトピー治療の体質改善の効果が出てきます。

カビや、とびひの診断以外で痒みがなくなった場合は、塗り薬を使用する必要はありません。

なぜ当日窓口での依頼では、1ヶ月分の薬を処方できないのですか？

予約なしでは10日分のお薬を処方します。予約では1ヶ月分のお薬を処方します。

30年来にわたって当院が開発した配合薬は、既存の薬とは違い、患者さまの状況に応じて数種類の薬を、それぞれの量で配合しています。

患者さまが増え、現状況で当院の規模では当日一度にお一人1ヶ月分を調剤することができません。ご理解いただければ幸いです。

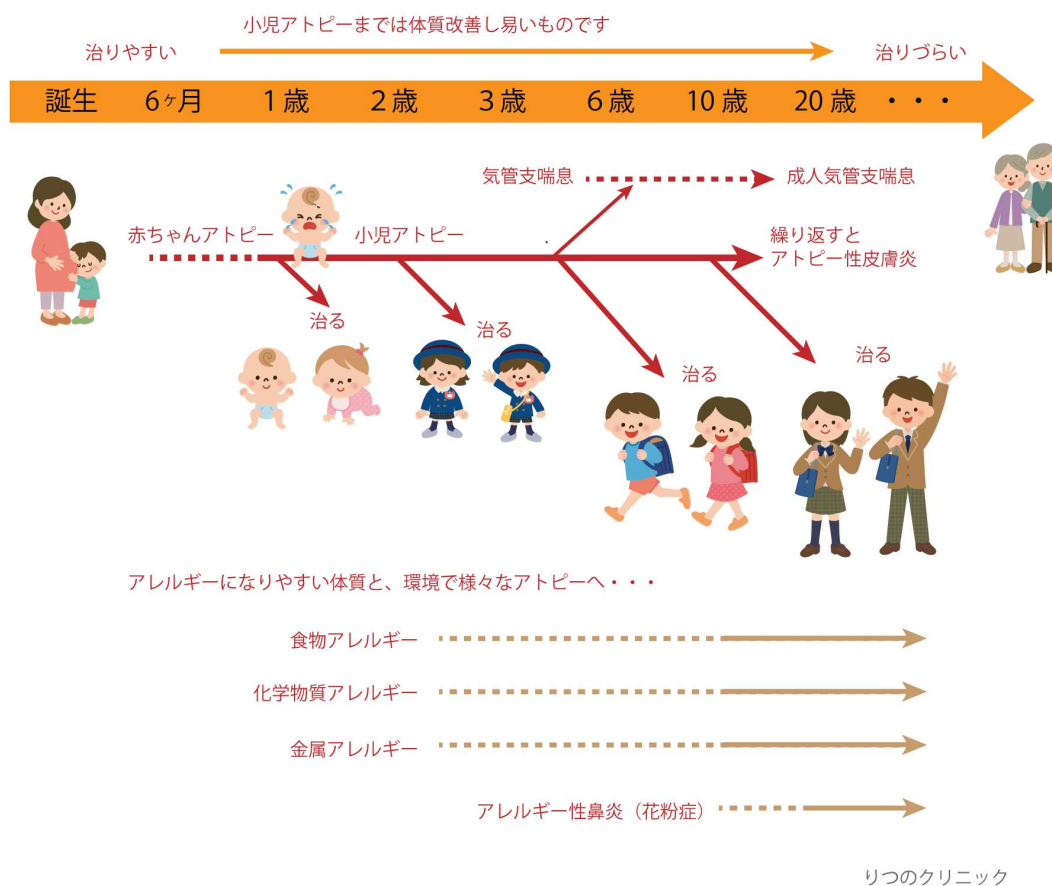
小児アトピーの子供は、ぜん息になり易くなりますか？

免疫の過剰反応がぜん息のきっかけであり、風邪を繰り返す人に加えて、アトピー性皮膚炎の子供も喘息になり易いものです。

風邪にかかったら早めに治療を開始して、長引かないように治してください。乳児、幼児のアレルギーは梅雨の時期から夏場に悪化することが多いものです。

毎年のように小児アトピーの発症を繰り返すことがあります。成長するたびに発生するようになるとアレルギーマーチ「行進曲」という状態になります。当院では様々なアレルギーと、カビなどが、年々複合的に重なり重症になった乳児とお子さんが来院しています。

成長すると花粉症から、アレルギー鼻炎、そして、ぜん息になることもあります。もちろん、自然によくなるケースも多数あります。



統計的に、小児アトピー性皮膚炎のお子さんの4人に1人はぜん息になっています。

ぜん息の子の2人に1人はアトピー性皮膚炎か、病歴を持っています。季節性のアレルギー疾患も問題になることがあり、当院では一緒に治療します。

当院の内服薬でもぜん息の予防効果が50%あります。内服薬は喘息薬と併用することもできます。さらに、特定の気管拡張剤を処方することもできます。

アトピー性皮膚炎の他に、花粉症、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、食物アレルギーなどアレルギーが原因で起こる病気は沢山あります。アレルギー性皮膚炎の原因にはダニやカビ、ハウスダスト、花粉などもあります。これらが原因と分かっている場合は、極力これらの抗原に暴露しないような工夫が必要となります。

最近の研究結果では家畜を飼っている農家の子供は小児アトピーや花粉症になりにくいという結果があります。赤ちゃんのうちから、様々な抗原に少しずつ暴露することで、様々なアレルギー疾患の発症を未然に防ぐことが出来るということを示すものです。

発症を防ぐためにも、日常生活において過度な除菌や体の洗浄はお勧めしません。発症してしまっている場合でも、内服薬の力を借りながら、少しずつ体に慣れさせることも必要と考えます。

手洗いや、うがい、マスクは一般的な風邪等の予防になりますので適宜行って下さい。頻回で過度な手洗いは不要です。

ぜん息とは何ですか？

まず、小児アトピー・赤ちゃんアトピーに関連するぜん息を説明します。ぜん息は、呼吸をするときの気道である空気の通り道が狭くなり、呼吸が苦しくなる「ぜん息発作」をくり返す病気です。

ぜん息の人の気道は、慢性的な炎症があるために刺激に対して過敏な状態になります。そうするとちょっとした刺激にも敏感に反応してしまい、ぜん息発作をくり返します。

ぜん息の炎症はアレルギーで、治ったと思っても繰り返し発生するのが特徴です。空気が乾燥する冬場で、粘膜が弱いと風邪を引きやすくなりますね。体を守る免疫によって、ダニやカビ、空気汚染に対して過剰に反応することがアレルギー反応です。

ぜん息合併症のお子さんは当院の先生に相談してください。

日常生活への質問

スキンケアはどのようにしたらいいのでしょうか？

スキンケアは、小児アトピー塗り薬の効果を高め、汗や汚れなどの外的刺激を減らし、きれいな皮膚を維持させます。しかし皮膚を洗いすぎると、かえって皮膚が痛められ、細菌などが増殖しやすくなります。

特に黄色ブドウ球菌などの常在菌は普段は悪さをしませんが、弱ったアトピー性皮膚炎の皮膚においては、時間がたつと増加し、傷やかき傷などから感染し、炎症、膿痂疹、とびひ等の原因となります。

アトピー性皮膚炎の方は患部を洗う際、石けんは使用せずぬるま湯で汗や汚れを洗い流すのみにして下さい。

合成繊維のタオル・スポンジやゴワゴワしたもので決して擦らず、皮膚を傷つけないように優しく洗って下さい。後は、清潔なタオルで押さえるように水分を拭き取ります。

乾燥する時期は、すぐに保湿することが大切です。

どうして石鹼を使わないのですか？

患部の皮膚の表面はとてもデリケートです。石鹼も刺激となる可能性もあります。また、皮膚バリアーに必要な油分までも洗い落としてしまうことで、体外からの刺激に対して弱くなります。

アトピー性皮膚炎の患部をタオルでゴシゴシ洗うことで傷を広げてしまったり、治りかけていた傷の表面がはがれ落ちてしまい、治りを遅くさせてしまいます。

特に治療中は、小児アトピー・赤ちゃんアトピーの皮膚には石けんを使用しないことをおすすめしています。

皮膚がきれいになるまでは、砂遊び・泥遊びは極力させないようにして下さい。

またプールの塩素は刺激にもなり、また皮膚を極度に乾燥させますので、治るまでは控えて下さい。

患部の汚れは5分お風呂に浸かるだけで、ほぼ落とすことができます。老廃物やヨゴレがバスタブの中に自然に落ちていきます。

頭部だけは例外です。患者様に合ったシャンプーでよく洗ってください。フケの少なくなるシャンプーで、かゆみが低減できるものが望ましいものです。

赤ちゃん用シャンプーも推奨します。

シャンプーの使用後は 36–38℃のぬるま湯で丁寧に流してください。

石鹸を使う場合

アトピー性皮膚炎のお体には原則、石鹸は使わない方が望ましいものです。

しかし、体が汗や汚れて石鹸を使う場合、患部を避けて使ってください。

ベビー石鹸、ベビーソープをお勧めします。

特に頭部は脂が多いので、アトピーの子はシャンプーをしないとフケが多くなる場合もあります。

その際、シャンプーは刺激が少ない赤ちゃん用シャンプーを使い、お湯で洗い流す時も体にかからないようにしましょう。

アトピーの大人も刺激のない無添加で低刺激な赤ちゃん石鹸、赤ちゃんシャンプーを使ってください。石鹸などで洗った後は軟膏を付けるのを忘れないでください。

消毒液は禁止

消毒液も禁止です。消毒液はベビー用でも刺激があります。

お湯、または水で丁寧に洗うだけで十分です。

洗った後は軟膏を付けるのを忘れないでください。

入浴剤も禁止

入浴剤も刺激が大きいため原則使用しないでください。

もし使う場合は、無添加の炭酸泉がおすすめです。

薬用ホットタブ重炭酸泉という商品もあります。

お塩やエプソムソルトという天然素材でも体が温まります。



石鹸

シャンプーは
患部に使わないでね
りつのクリニック

普段から気をつけたい生活ポイントとは？

小児アトピーの普段の生活で注意したい、簡単な5つのポイントをご紹介します。

(1) 汗の汚れ

汗の汚れは皮膚の大敵です。汗をたくさんかくのはよいことですが、その後は、できるだけ早くスキンケアをしてください。

水かぬるま湯で洗いましょう。

(2) 爪を清潔に

子供の爪は早く伸び、爪と皮膚の間には細菌も溜まりやすくなります。小児アトピーではかゆみが出ることも多く、その爪で皮膚をかくと、皮膚の状態が悪くなります。まめに爪を切って、爪の裏を清潔にしてください。特に赤ち

やんの爪はとても薄く傷つけやすいので、週に2から3回は爪切りをしましょう。

(3) 口の周りを清潔に

赤ちゃんはヨダレの刺激で、口の周りの湿疹が治らない場合があります。このような時は、食事前に白色ワセリンなどを塗っておくと皮膚が保護されます。食事が終わったら、口の周りを清潔にしましょう。

(4) 髪の毛は皮膚に当たらないように

前髪の毛先はまぶたにかからないようにします。耳や襟足に髪がかかると、その部分が刺激になることがあります。

(5) 衣類を清潔に

下着は汗の吸い取りやすいものにします。アレルギー源になりやすい化学繊維は避けます。洗剤を自然系のものにしたたり、洗濯すすぎを一回余分に行うのも効果があります。洗濯機のカビ取りも専用クリーナーで定期的に行いましょう。

ただし、除菌や殺菌など過度の清潔は必要ないと考えています。まずは、ご両親、お子さまのストレスにならない程度にしましょう。

夏のスキンケアで気をつけることは？

汗が出る時期は小児アトピーが悪化し易いものですが、小児アトピー・赤ちゃんアトピーでも普通のお子さんと同じ生活をして元氣よく遊ばせてください。少しだけ注意して生活することがコツです。

(1) プール

アトピー性皮膚炎の子供にとってプールの塩素は皮膚によくありません。

今年は少しだけ我慢して治療に専念しましょう。

皮膚が良くなってから来年には入れるように、と頑張っていきましょう。

軽い症状で医師の許可が出た方で、プールに入る場合は、塩素対策として、プールが終わったら、できるだけ早くスキンケアをして、患部に指示されている小児アトピーの塗り薬を塗ってください。

(2) 海水浴

アトピー性皮膚炎の子供にとって海水も皮膚によくありません。できるだけ避けてください。

軽い症状で海水に入る場合は、海水がついたまま肌を乾燥させると、小児アトピーで弱った肌の皮膚バリアを壊すことがあります。

海から上がるたびに、真水で洗います。あらかじめ大型ペットボトルを準備しておくと簡単です。

もちろん、海水浴が終わったら、スキンケアを行い患部に小児アトピーの塗り薬を塗ります。

(3) 日焼け

長時間の強い紫外線によって小児アトピーが悪化することがあります。
長い時間の屋外活動では帽子をかぶったり、長袖の服を着たりしましょう。

日差しの強い時間にはパラソルの下などにいる日よけ対策も効果的です。
日焼け止めは、あまりお勧めしませんが、使用する場合はまず身体や顔の一部
でテストしてみてください。

赤みや痒みが増したり、ヒリヒリしなければ、
使用しても大丈夫です。帰宅後は、優しく洗い流すようにしましょう。

(4) 虫除けスプレー

小児アトピーにはアレルギーを起こす人もいるため、お勧めしません。 どう
しても必要なキャンプなどでは、虫除けスプレーでかぶれることがないか、
皮膚に少しだけ付けて、赤くならないか確認してから使いましょう。
できれば、長袖、長ズボンがおすすめです。

室内での小児アトピー対策はありますか？

室内での悪化要因にはアレルギー源である、カビ、ダニ、ハウスダスト、ペットなどがあります。

アレルギーになり易いの中には、目に見えないほど小さなダニです。発生のピークは7月から9月。ちょうど小児アトピー・赤ちゃんアトピーが悪化する時期と重なっています。

ダニが多い場所は、布団、じゅうたん、布製ソファ、ぬいぐるみ、クッションなどで、生きているダニだけでなく、ダニの死骸も原因になります。つまり古い布製ソファや古いクッションなどには沢山います。

(1) 布団

天日干しや、布団乾燥機で乾燥させます。干した後は掃除機をかけて表面のダニや死骸を取り除きます。

(2) カーテン

ホコリが溜まり易いので、時々洗いましょう。

(3) ぬいぐるみ

不要なぬいぐるみは処分します。

買う時は丸洗いでできるものを選び、洗濯します。

(4) じゅうたん

できるだけ、じゅうたんは使用しない方がよいです。使用する場合は、掃除機を丁寧にかけます。

(5) 布製ソファ

布製ソファはできるだけ使用せず、合成皮や皮製のソファを選んでください。

カビ対策は、換気を十分行うことが基本です。特にお風呂、台所、トイレは湿気がこもらないようにして、窓を開けて風通しをよくします。

(1) エアコン

カビ、ホコリを舞い上がらせないように、こまめにフィルターを掃除します。

(2) 植物

家の中に鉢植えなどの植物を沢山置くと、カビが発生しやすくなります。観葉植物の数は適度に調整してください。

(3) 窓の結露

冬の間の結露はこまめに拭き取りましょう。時々、扉を開けて家屋の温度差を減らすこと結露を減らすことができます。

加湿器はカビの原因になりやすいものです。

ログイン・予約の方法

ログインの方法を教えてください

メールアドレスとパスワードを入力します。

[サイトリニューアルのお知らせ](#) をご覧ください

「1. キー入力が簡単に、新規登録・ログイン」に説明があります。

パスワードを忘れました。再設定？

ログインを選択して、「新規登録」の最下部「アカウントをお持ちの方はログイン」から順次操作します。 [パスワードの再設定方法](#) をご覧ください。

家族で受診する場合について教えてください？

ログインと代表メールは全員同じです。氏名は家族内の患者様の代表者名としてください。

■診察日時

診察日時の予約は家族で1つだけ取得してください。

■問診票、写真、お薬予約

問診票の送付、写真の送付、お薬の予約は、家族の受診者を別々に送付してください。

代表メールが同じなので当院で認識できますが、コメントに代表者患者さんの家族であることを記載いただければ幸いです。